




## 美容所の施設基準

区分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・美容所と一般住居に使用する部分及び他の営業に使用する部分を隔壁等により区分すること。</li> <li>・作業場及び待合所を設け、これらを明確に区分すること。</li> <li>・作業場は、美容に関係のない用途に使用しないこと。ただし、美容所と同一の場所に理容所（理容師法（昭和 22 年法律第 234 号）第 1 条の 2 第 3 項に規定する理容所をいう。）を開設する場合（当該美容所の全ての美容師及び当該理容所の全ての理容師（同条第 2 項に規定する理容師をいう。以下同じ。）が美容師及び理容師の両方の免許を有する場合に限る。）であって、当該作業場を理容（同条第 1 項に規定する理容をいう。）の用途に使用するとき、この限りでない。</li> <li>・作業場には、作業中の客以外の者をみだりに出入りさせないこと。</li> </ul>
採光・換気	<ul style="list-style-type: none"> <li>・採光、照明及び換気を十分にすること。</li> <li>・美容師が美容のための直接の作業を行う場合の作業面の照度を 100lx 以上とすること。</li> <li>・美容所内の空気 1L 中の炭酸ガスの量を 5cm<sup>3</sup> 以下に保つこと。</li> <li>・室内空気を汚染する構造の燃焼器具がある場合には、換気上有効な機械換気設備を設けること。</li> </ul> <div style="text-align: right; margin-top: 10px;">  </div>
床面積	<ul style="list-style-type: none"> <li>・条例第 5 条第 3 号に規定する作業場の床面積は、作業椅子 2 脚までは 9.9m<sup>2</sup> 以上とし、作業椅子 2 脚を超えて 1 脚を増すごとにこれに 1.65 m<sup>2</sup> 以上を加えたものとする。</li> </ul>
清潔保持	<ul style="list-style-type: none"> <li>・皮ふに接する布片及び皮ふに接する器具を清潔に保つこと。</li> <li>・常に清潔に保つこと。</li> <li>・床及び腰板にはコンクリート、タイル、リノリューム又は板等不浸透性材料を使用すること。</li> <li>・ふた付きの汚物箱及び毛髪箱を備えること。</li> <li>・常に清潔な作業衣を着用し、顔面作業を行うときは、清潔なマスクを使用すること。</li> <li>・手指の爪は、常に短くし、手指は、客 1 人ごとに石けん又は消毒液で洗うこと。</li> <li>・客用の被布は、使用目的に応じて区別し、常に清潔なものを使用すること。</li> <li>・客の皮膚に接しない器具であっても、客 1 人ごとに汚染されるものは、常に清潔に保つこと。</li> <li>・作業場には、客に接して使用する布片、紙片、消毒済の器具等を収納することができる容器又は戸棚を設けること。</li> <li>・毛そりに用いる石けん液は、客 1 人ごとに取り替えること。</li> <li>・作業場の床面は、清掃を容易に行うことができる構造とすること。</li> </ul>
消毒・薬品	<ul style="list-style-type: none"> <li>・皮ふに接する布片を客一人ごとに取り替え、皮ふに接する器具を客一人ごとに消毒すること。</li> <li>・消毒設備を設けること。</li> <li>・外傷に対する応急処置に必要な薬品及び衛生材料を常備すること。</li> <li>・消毒液は、適正な濃度のものを調製し、清潔に保つとともに、適時有効なものを取り替えること。</li> <li>・衛生上有害なおそれのある薬品、化粧品等を使用しないこと。</li> </ul> <div style="text-align: right; margin-top: 10px;">  </div>
皮膚疾患	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染性の皮膚疾患にかかっている者は、作業に従事しないこと。</li> <li>・感染性の皮膚疾患にかかっているおそれのある客を扱ったときは、作業終了後、自己の手指、使用した布片、器具等の消毒を完全に行うこと。</li> </ul>

水 回 り	<ul style="list-style-type: none"> <li>・洗場は、流水装置とすること。</li> <li>・作業場には、器具及び手指の洗浄及び消毒を行うための流水設備を設けること。</li> <li>・作業場には、温水を供給することのできる洗髪設備を設けること。</li> <li>・使用する水は、水道法（昭和 32 年法律第 177 号）第 3 条第 1 項に規定する水道又は特設水道条例（昭和 39 年兵庫県条例第 62 号）第 2 条第 1 項に規定する特設水道により供給される水（以下「水道水」という。）を原則とし、水道水以外の水を使用するときは、消毒し、水質検査を受け、飲用に適する旨の確認を受けておくこと。</li> </ul>	
そ 族 昆 虫	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昆虫等が付着した毛髪を扱ったときは、その毛髪、昆虫等の処理を完全に行うこと。</li> <li>・ねずみ、昆虫等の駆除に努めること。</li> </ul>	